

さくら

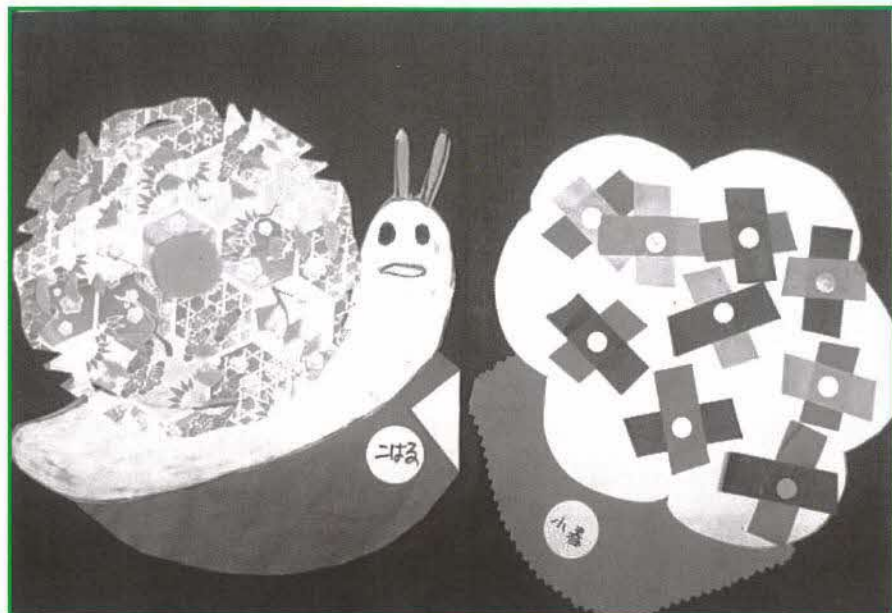
題字 足立区長 近藤 やい
足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会長 小久保 隆
編集 広報委員会
発行日 2017年11月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1
TEL 03-3880-5870

目次

全 員 研 修 会	2
委員長・部会長紹介	3
全国民生委員児童委員大会	4
赤い羽根共同募金	5
「老後を考える」シリーズ7	6
シリーズ「災害に備える」3	7
町会自治会「地域を訪ねて」	8
編 集 後 記	



「カタツムリとあじさい」 六木小 4年 竹越小春 作

民生委員制度創設 100 周年記念誌 完成しました！

平成 27 年度から始まった編集会議は回を重ねること 18 回という、充実した取り組みとなりました。私達委員 9 名に民生係職員と出版社の担当者を加えた総勢 13 名でどこにも負けない記念誌を作ろうとの志のもと、本当に時の過ぎるのも忘れて意見を出し合いました。

誰が見ても分かりやすいもの、民生・児童委員の変遷がひと目で理解できるもの、オールカラーページで美しいもの、現役の委員が全員写真に載るものを目指し、何回も何回も取材・編集協力や校正を繰り返しまし

た。そして、宮崎・中田両顧問に多くのご指導をいただき、実に立派な誇りを持つことのできる記念誌ができ上がったのです。

この記念誌は日ごろの私達の民生・児童委員活動を振り返る時に、先人のご苦勞を今一度感じながら、自分自身の行動を再確認するためのバイブルとして大切に活用していただきたいものだと思います。

結びに、この記念誌の出版にあたり多くの方々のご協力をいただき心よりの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

記念誌部会編集長 野辺陽子





全員研修会



菊の花・松の木・つたの木が大事

8月3日の午後、西新井文化ホールにて、足立区民生・児童委員が集まり「全員研修会」が開催されました。民生・児童委員の研修は、各地区で行う自主研修、各合同で行う合同地区協議会、そして今回の全員研修があります。今年は、日本に民生委員制度の前身となる組織が岡山県で設立されて100年になり「民生委員制度創設100周年記念」の式典にもなりました。

第1部は、開会宣言に続き、民児協の小久保会長の挨拶がありました。来賓の近藤やよい区長から「足立区の民生・児童委員活動を誇らしく思う」とのお言葉を



▲アトラクションは、中野区民生・児童委員協議会のコーラス部「はとの会」による合唱がありました。

をいただきました。かねだ正足立区議会議長からもお言葉をいただきました。その後、壇上来賓者、各地区の会長、そして5区5市からの来



▲講師 福田豊衍氏

賓、及び足立区にて民生・児童委員活動に関連のある各種諸団体から参加していただいている方々（約200人）の紹介がありました。

第2部は「民生・児童委員による相談支援活動のヒント集」と題して、前東京都民生児童委員連合会会長福田豊衍氏の講演会でした。民生・児童委員として「菊の花」「松の木」「つたの木」が大事である。「聞く、話すまで待つ、そして行政に伝える」です。また、宮沢賢治の代表的な「雨にも負けず 風にもまけず（中略）そういうものに わたしは なりたい」という詩を朗読され、「民生委員はこの心を持ってください」とお話しをされ終了となりました。

（神明地区 矢澤敏臣 記）

平成29年度 会長協議会視察研修 とちぎ福祉健康プラザ



6月2、3日の会長協議会視察研修は、栃木県宇都宮市にある「とちぎ福祉健康プラザ」を訪問しました。この施設は、障がい者をはじめとする栃木県民の幅広い交流と社会参加、自主的な福祉活動を支援し、県民が共に支えあう地域社会を作ることなどを目的として、栃木県社会福祉協議会、障がい者等団体、保育関係団体、支援団体等、多数の福祉団体が入居しています。

今回の研修では施設の概要説明に続き「バリアフリーモデルルーム」見学と「とちぎ視聴覚障害者情報センター」の見学体験を行いました。特に感動を受けたのは、先天的全盲の方から通常生活での活動、たとえば通勤・買い物・仕事上で不便を感じたことはないという明るく力強い発言があったことです。実際にカバンから包丁を取り出してリンゴの皮剥きを行い、ごみを完璧に片付けするまで実演してくれました。また、障がい者に対して必要以上に気を使うことなく、普通に接してほしいとの意見があり大変参考となりました。

残念なことに多くの地区会長が日程の調整が付かず不参加となりました。次回の視察研修には全員参加されることを強く期待して、貴重な研修を終えました。

（連合会長 小久保隆 記）



委員長・部会長紹介



首藤広行 委員長

【主任児童委員会】

この度、小宮前委員長の後任として、委員長を引き継ぐことになりました。現在、足立区では50名の主任児童委員が、区域担当の民生委員・児童委員と連携しながら子育ての支援や児童健全育成活動などに取り組んでいます。たとえば、通学路や遊び場の危険箇所の点検、犯罪被害から子どもを守るための活動、児童虐待防止を呼びかける街頭キャンペーン、また、虐待の早期発見・早期対応のために児童相談所と連携して子育て家庭の見守りや相談支援などにも取り組んでいます。誰もが安心して住み続けられる地域づくり、地域福祉の充実のための、住民の皆様と関係機関・団体との「つなぎ役」が私たち主任児童委員会の役割です。これからも、区民の皆様からの積極的な情報提供と、ご指導・ご協力を心よりお願い申し上げます。



鈴木淳 部会長

【子育て支援研究部会】

今回の改選で、子育て支援研究部会の部会長に選任されました、鈴木淳と申します。

民生・児童委員となり2期目、初めての部会での大役で大いに不安はございますが、精一杯頑張りたいと思います。

さて、足立区では子どもの貧困対策に力を入れておりますが、地域と積極的にコミュニケーションを持ってない親が潜在的にたくさんいるとうかがっております。今年は「足立区の子育て支援の現状サービス等を学ぶ」のテーマのもと、部会員の皆様のお力を拝借して、有意義な部会運営を行っていききたいと思います。

そして、少しでも足立区の子育て支援の力になるように部会一同、精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【広報委員会】

この度、秋本前委員長の後任として広報委員長を務めさせていただきますことになりました。民生・児童委員の広報紙としての役割を認識し、全員研修会でのアンケート結果を踏まえて、掲載記事の内容、地域の偏重がないよう注意し、より良い広報紙「さくら」を目指して、小宮相談役とともに、25名の広報委員が全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



鶴田晴久 委員長

【児童福祉研究部会】

子どもは生を授かり、即、現実の世界に直面し社会のしくみ、自身の置かれた環境を学びます。現在は私たちが育った時代とは違いライフスタイルも多様化し少子高齢・核家族化が進み、雇用の変化等により家庭での経済・生活不安が増すと共に行政による福祉サービスもきめ細かく、広範囲で複雑化してきています。私たち部会員は子どもを取巻く貧困・虐待などの家庭環境、いじめ・不登校などの教育環境の問題に対し「未来へつなぐあだちプロジェクト」を教本とし、研修、調査、実体験を通して理解を深め家族、地域、行政、他機関とも連携をし、今以上に子ども及び保護者に幸せを感じられる生活環境の向上に努めたいと思います。



小泉博 部会長



「宝の地図」 辰沼小 4年 内田漣 作



民生委員制度創設 100 周年記念 全国民生委員児童委員大会



天皇皇后両陛下のご臨席を賜りました。

平成 29 年 7 月 9 日（日）東京ビックサイトにおいて「全国民生委員児童委員大会」が開催されました。全国約 1 万人の民生・児童委員が一堂に会し、寺田東京都民生児童委員連合会長の開会宣言の後、物故者追

悼の黙祷、得能全国民生委員児童委員連合会長の式辞に続き、塩崎厚生労働大臣、斉藤全国社会福祉協議会会長、小池都知事のご挨拶、表彰と続けました。

鎌田實氏による「あたたかい社会をつくる」の記念講演があり「1%は、誰かのために生きなさい」「ボランティア活動をしている高齢者は、していない高齢者に比べて高血圧のリスクが、40%少ない」など印象に残りました。

これから「地域共生社会」の実現がめざされ、私たちにも大きな期待が寄せられています。強い決意をもって大会宣言 5 項目が採択されました。

江戸消防記念会による歴史ある木遣りと纏い、梯乗りが披露され感動の記念式典が終了いたしました。

（常東地区 齋藤祐子 記）

民生100周年 「民生委員制度創設 100 周年の歩み」＝民生委員のはじまり＝



大正 6 年（1917 年）5 月に民生委員制度の源である岡山県「済世顧問制度」設置規程が公布された。また、東京においては、大正 7 年（1918 年）5 月に同じく民生委員制度の始祖と言える「救済委員制度」が発足された。

大阪では、大正 7 年 10 月に民生委員制度の前身として「方面委員制度」を創設した。管内をいくつかの方面に分け、委員を置き、生活状況の調査と救済の実務にあてた。「方面委員制度」は全国に広がり、民生委員制度の前身となった。

（100 周年通信より）（広報委員会 記）



「きっと健康になる」「きっと仲間が増える」「きっと夢が叶う」をもっと一に

総合型地域クラブ KITクラブ 21

スポーツをとおして地域の活性化や絆作り、老若男女が「きっと健康になる」「きっと仲間が増える」「きっと夢が叶う」をモットーに、現在 9 つある総合型地域クラブの第一号として、3 町会・2 自治会（KIT＝古千谷本町町会・入谷町会・入谷自治会・舎人町会・舎人自治会の頭文字）が中心となり、どこでも・誰とでも活動ができ、楽しく汗をかき夢を達成できる場として平成 14 年 5 月に発足しました。

地域の皆様やボランティアの支えのもと今日に至っています。廃校となった旧入谷南小学校を拠点に、中学校 3 校・小学校 4 校・舎人住区センターをお借りして、オリジナルプログラム 12 種目とサークルプログ

ラム 7 種目が行われています。一年間の行事として、6 月にスポーツの祭典、8 月に舎人第一小学校にてプール開行事業、12 月に地域絆作りドッチビー交流会、3 月にフレンドリーウォークを行い、都や区の委託事業も何回か行っています。ぜひ一度、足立区の総合型地域クラブが活動しているところを覗いてください。



（KIT クラブ 21 副会長 村田圓 記）



赤い羽根共同募金

平成29年10月2日午前7時30分より北千住駅西口の丸井前にて、街頭募金運動を行いました。過ごしやす



やすい天候のもと、担当地区の民生・児童委員が「赤い羽根共同募金にご協力お願いします」と大きな声でよびかけました。足早に急ぐ学生さん、サラリーマンが行き交うなか協

募金総額 1,360,853 円

力してくださる方、申し訳なさそうな顔で通りすぎる方などさまざまです。

顔見知りの方を見かけたので「〇〇さん、協力お願いします」と声をかけたところ、募金してくださいました。その後、委員で活動中のエピソードを話して、楽しいひとときを過ごしました。

お忙しい中、足を止めてご賛同いただきました皆様、誠にありがとうございました。

(5地区 松浦恵子 記)

全員研修会「さくら」アンケート

アンケート実施日：平成29年8月3日

配布枚数：767枚 回答者数：370名

Q 「さくら」の印象について

	良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い	無回答
全体の印象	23.5%	43.0%	29.2%	0.3%	0.3%	3.8%
前回の印象との比較	19.2%	39.2%	35.1%	0.0%	0.0%	6.5%
読みやすさ	24.3%	42.7%	30.8%	0.8%	0.3%	1.1%
文字の大きさ	24.1%	36.2%	33.2%	4.3%	0.3%	1.9%
小・中学校の作品	39.2%	35.7%	20.3%	0.5%	0.3%	4.1%

「前回の印象との比較」で、過半数の方から「良い」「まあ良い」の評価をいただきました。自由記載の評価理由にも多くのご意見をいただき、今後の紙面づくりに大変参考になりました。

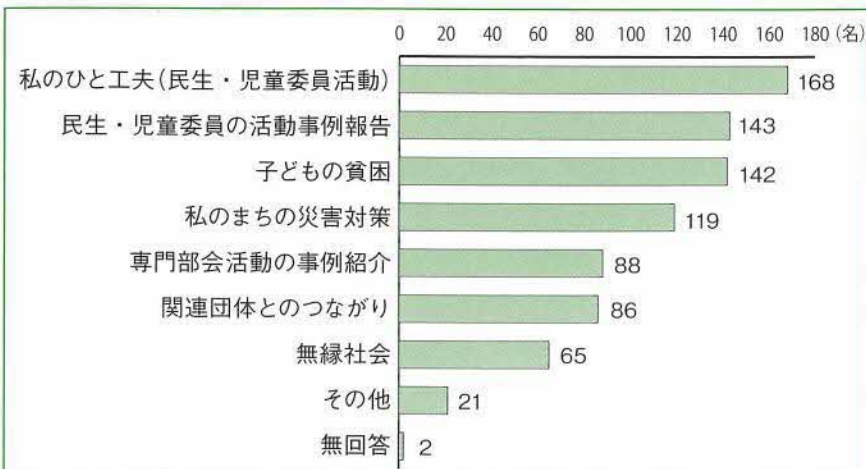
様々な話題がある中で、一番多くの方が民生・児童委員活動をさらに取り上げてほしいと回答くださいました。

これからも皆様にわかりやすく、興味を持っていただける広報紙づくりを心掛けてまいります。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

Q 今後取り上げて欲しい話題

複数回答



「くにくにくくるくる」

中川東小 3年 高橋沙彩 作



足立区25ヵ所の地域包括支援センターでは定期的に「認知症カフェ」を開催しています。

認知症カフェとは、認知症の方とその介護者家族、認知症の疑いのある方、そしてその方々を支える地域の方を対象に安心して集うことができる交流の場所です。

地域には認知症で外出する機会が少なくなり、他者との交流が減っている高齢者の方が増えてきていま

す。また、家族に認知症の方がおり、なかなか息抜きができない方もいらっしゃいます。その方々に認知症カフェを一息つける場所として利用していただきたいと考えております。

地域包括支援センター日の出では「ひのでカフェ」と題して毎月1回UR日の出町団地の2号棟集会室をお借りして開催しています。

皆様と協力して、認知症カフェを地域に根付かせていきたいと考えております。ご協力していただける方も随時募集しておりますので、ご興味のある方は一度見学にいらしてください。

(地域包括支援センター日の出 記)

シリーズ「子どもたちはいま」7 じいじハウス・ばあばキッチンー子ども食堂ー

私たちの子どもの頃は、遊ぶ子を見守る、親以外の大人がたくさんいました。もちつき、お祭り、ラジオ体操、いろいろな場面で近所の大人の目が子ども達に注がれていました。しかし、社会の変化とともに悩み、ストレスを抱え、体調を崩す親も出てきました。

人は、家族などの集団で子育てをすると聞いたことがあります。しかし、今の日本ではひとり親で子育てをしている家庭も多くその貧困率は50%を超えています。

連日のように子どもに関する悲しい事件が報道され、私たちができることは何かを日々考えさせられます。社会から取り残された貧困の子に光をあてられる

のは、昔近所にいた「じいじ」と「ばあば」の存在ではないかと思い「じいじハウス・ばあばキッチン」



が誕生しました。ばあばの料理を食べ、じいじと遊び、親たちも集まれる居場所として「社会福祉法人からしだね」と10地区の民生委員が手を取り合い、小さな一歩を踏み出したのです。

(10地区 川島恵美子 記)

ぶらり足立 栗島住区センター

栗島住区センターは、開館1周年を8月に迎えた新しい施設です。福祉事務所の1階にあり青井六丁目、中央本町一、四、五丁目町会及びその他の自治会で組織された管理運営委員会が自主運営しています。事務



長に案内され事務室を抜けると広いサロンがあり右手には学童保育室と児童館があります。壁には子どもたちの作った折り紙が飾られていました。左手には悠々館

(集会室、娯楽室)があります。児童館にある乳幼児室では保護者と遊ぶ幼児、図書スペースでは児童たちが読書中で、奥の工作室では子どもたちが職員の指導で段ボール工作を楽しんでいました。学童保育室では、栗島・弥生・梅一小学校の児童を預かり、食の安全や怪我・病気に気を使い楽しく遊ばせています。悠々館では他地域からの人も多数参加して「みんなで体操・盆踊り」の企画を楽しんでいました。当住区センターでは、利用していない人に町会・自治会を通し活動を知ってもらい来館を呼び掛けています。利用者が増えることを期待して取材を終えました。

(東栗原地区 益塚賢治 記)



「逃げ遅れゼロ」「犠牲者ゼロ」 を実現するために！

平成 27 年 9 月に茨城県常総市を襲った関東・東北豪雨、今年 7 月の九州北部や秋田県を襲った豪雨など、毎年のように日本各地で水害が発生しています。足立区では、懸念されている首都直下地震のような震災対策だけではなく、大規模水害時の対応についても、江東 5 区（墨田、江東、足立、葛飾、江戸川）が都、国土交通省等と連携し、検討を進めています。

大規模水害時の「逃げ遅れゼロ」「犠牲者ゼロ」を実現するためには、事前の準備、情報収集、早めの避難が最も重要です。避難が必要な際は、次に挙げる各

シリーズ

災害に備える 3 水害



避難情報を、区でもあらゆる情報発信手段（防災行政無線、広報車、A-メール、ホームページ等）を通じてお知らせします。

あわせて、事前に備える「自助」も必要です。各家庭での備蓄（食料、飲料水、医薬品等）のほか、河川水位が確認できるスマートフォンアプリ「足立区防災ナビ」での情報収集や『足立区洪水ハザードマップ』での浸水想定の確認等、事前にできる備えもお願いします。

《避難情報》



避難指示（緊急） ※（旧）避難指示

命の危険が差し迫って、緊急に避難が必要な場合に発せられます。直ちに避難が必要です。

避難勧告

被害が発生する可能性が高まった場合に発せられます。安全な場所への避難を促します。

避難準備・高齢者等避難開始 ※（旧）避難準備情報

要配慮者など、避難に時間を要する方は避難を開始する必要があります。その他の方も避難の準備が必要です。

（足立区危機管理部災害対策課 記）

足立区立鹿浜菜の花中学校

母の日に 私のやさしさ 届けるよ 一年 森田 葵	夜るとき 二人でみつけた 天の川 一年 梶 太翔	貝がらで 海とお電話 なみの音 一年 原田里梨花	炎天下 見上げた空に 日の丸が 一年 齋藤 絢大	地平線 かげろうがゆれ 暑さ知る 一年 三澤 琉海	夏の夜の 静かに波うつ 海の音 一年 大山リリア	海岸に 白波立てて 龍が舞う 一年 遠藤 剛成
-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------

中学生俳句コーナー



「きれいなサイネリア」

六木小 5 年 大野優人 作



シリーズ7 町会自治会「地域を訪ねて」 鹿浜島町会



鹿浜島町会は、足立区の西部に位置し、隣は川口市に面しています。現在、町会加入件数が650世帯、加入率54%です。大災害発生の際に顔も知らない、話もしたことがない方とのコミュニケーションが心配されます。

特に若いご夫婦の世帯の町会加入が少なく、町会の役員は特徴ある研修、行事等計画して掲示板、広報車などでアピールしています。

近年、部員20名の青年部が、秋の氷川神社の祭礼をもっと子どもたちが参加出来る行事にしたいとお神

輿を購入することになりました。これにより、たくさん子どもたちがお祭りに参加し、夜は大人が輪踊りや模擬店などに集まる夢のある秋になって欲しいと思います。

また、鹿浜島町会には2月初午祭、6月に輪くぐり祭、10月に子ども大運動会など数々の行事が行われます。荒川が流れ、都市農業公園が近く、まだ小松菜などを栽培する農家もあって大変環境に恵まれた町会です。

(鹿浜地区 鈴木健治 記)

こんなことがありました？

昨年12月の民生・児童委員改選で、先輩民生・児童委員の皆さんの卒業に心細く感じたり、献身的な活動をなさった諸先輩方のお力が途切れてしまうのを、残念に思っていました。

そんな時、長い民生・児童委員活動を通じて、引きこもらないことの重要性を痛感し、ふれあいサロンを立ち上げた方がいらっしゃいます。原則、毎月第2月曜日の午後1時から3時、100円のお菓子代を会費として開催しています。参加させていただきますと、間違い探しでは、それぞれが好みの問題用紙に向かい、教え合い相談したりし、他にもナンプレなどに取り組んでいます。

民生委員の経験をいかして



また、スタッフの演奏する鍵盤オルガンに合わせて歌ったり、手遊びをしたり、体を動かす工夫もされています。中でも四谷怪談の朗読では、子どもも大人も朗読の世界に引き込まれました。あっという間の2時間でした。

(6地区 田中礼子 記)

編集後記

広報委員になり1年近く経ちます。記事は書けるのか？不安だらけの1年でした。まだ何もしていないというのが実感ですが、委員の皆様に助けられ、少しずつ分かってきました。毎日の出来事を振り返り、一つでも有意義な記事を提供できれば、と考

えております。今年は、全国的に災害も多く、大変な年となりましたが、明るい話題を皆様に届けて行きたいと思います。

(4地区 吉田祐一 記)

○小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、

第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。

○皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 3月1日

原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談ください。

広報委員会

委員長	鶴田晴久	副委員長	金子みどり	書記	山崎秀夫	会計	丸山まさ子	編集	田中礼子	レイアウト	齋藤祐子	櫻井春子	校正	森葉子	編集委員	吉田祐一	渡邊進	福原稔	鈴木健治	江川礼子	金宮和代	鈴木恒雄	校正委員	星野明美	松浦恵子	上野剛	矢澤敏	志賀口博人	足立由美子	渡辺章子	小川玲子	益塚賢治	赤羽月子
-----	------	------	-------	----	------	----	-------	----	------	-------	------	------	----	-----	------	------	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	-------	-------	------	------	------	------